

第42回 大正会QSOコンテストの案内

もどる

第42回 大正会QSOコンテストを下記の通り開催しますので多数のご参加をお願いいたします。

【主催】 大正会 JARL登録クラブ（登録番号25-4-77）

【日時】 2023年（令和5年） 2月11日（土）00:00 ～
同年 2月17日（金）23:59(JST)

げ

【参加資格】 国内の個人アマチュア無線局。
ただし、当会クラブ局（JH3YAA）とのQSOは有効とする。

【参加部門】 会員の部・一般の部

【周波数等】 周波数帯を2区分し、1又は2のどちらかを選択して申請する。
重複申請は認めない。

- 1 HF帯（CW/AM/SSB/FM）
- 2 VHF/UHF帯（CW/AM/SSB/FM）

【交信方法】

- ・国内局及び大正会クラブ局（JH3YAA）との通常のQSO（コールサイン及びRST符号によるシグナルレポートの交換）を行う。
- ・大正会会員は、交信中に会員であることを明らかにする事。
CW等呼び出しは、KTK TESTを使用する。

【得点】

- 1 一般局・・・・・・・・・・1点
- 2 一般YL局(YL)・・・・・・・・2点
- 3 大正会会員局(M)・・・・・・3点
- 4 大正会会員2文字局(M)・・・・4点
- 5 大正会会員YL局(MYL)・・・・5点
- 6 大正会クラブ局(JH3YAA)・・・・5点

総得点＝得点合計×運用交信日数（最大7）

【注意事項】

- 1 バンド、モードが異なるQSOでも、同一局は1日1回しかカウント出来ない。
JH3YAAとの交信についても1日1回（期間中最大7回）カウントできる。
- 2 移動運用は国内自由とする。
- 3 中継局の使用は認めない。
- 4 JH3YAA以外のクラブ局等とのQSOは無効。
- 5 クロスバンドによる交信
- 6 同一又は異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射
- 7 使用周波数帯の逸脱
- 8 一つのコールサインで複数の部門・周波数帯にログを出すことを禁止する。
- 9 一人のオペレータが複数の異なるコールサインで運用し、それぞれのコールサインでログを提出することを禁止する。
- 10 一人のオペレータが複数の異なるコールサインで運用し、それぞれのログを合算して計上してログを提出することを禁止する。

【提出書類】 電子申請又は郵送申請

- ① 大正会支援ソフトを利用したエクセルファイルの申請書のEメール添付による送付又は印刷した申請書の郵送

- ② JARL制定のソフトによるテキストファイルのEメール添付による送付又は印刷した申請書の郵送
 - ③ 大正会支援ソフトを使わずに同ソフトと同様式で作成したエクセルファイルの申請書のEメール添付による送付又は印刷した申請書の郵送
- * 交信局数が200局を超える場合は重複チェックシートを提出すること。
(支援ソフトで作成されたExcelファイルを添付すること)

【提出期限】 2023年(令和5年) 3月10日(金) (郵送: 当日消印有効)

【提出先】 電子申請:

jh3fdx@jarl.com (件名にコールサインをご記入ください)

郵送先:

〒573-1158

大阪府 枚方市 北片鉾町 12-17

JH3FDX 寺嶋 義和

【問合わせ】 提出先にE-mail もしくは郵送でお願いします。

- 【賞】
- ・各部門とも・1位から3位までに[賞状と副賞]を贈る。
 - ・飛賞を贈る。

【結果発表】 2023年(令和5年) 4月開催予定の大正会総会で発表後、会報及びHPで発表
JN、CQ誌に掲載予定

【その他】 ① KTK TEST使用例

会員局=CQ KTK M TEST DE J*3***

一般局=CQ KTK TEST DE J*3***

② JARL様式等の申請書類を使用の場合は、記入例の様に記載して下さい。

③ 誓約事項は下記のように訂正して下さい。

私は、JARL制定のコンテスト規約及び電波法令に従い
運用した結果(以下省略)

④ 大正会専用コンテスト支援ソフトは、大正会HPからダウンロード出来ます
のでご利用ください。

公式サイトアドレス

<http://www.jh3yaa.com/>

⑤ 当会QSOコンテストは、交信局数制限がありません。

※ 交信局数の多少に関わらず申請書類の提出をお願い致します

■ 赤字は、昨年からの変更点です。

ダウンロード